

日時

6月20日(金)
18:00~20:30

場所

星陵会館

参加費

1000円

「われわれが銘記すべきことは、来し方を訪ねて歴史の教訓に学び、未来を望んで、人類社会の平和と繁栄への道を誤らないことです」——戦後50年の節目に、日本の植民地支配と侵略について反省し、謝罪した村山談話の一節です。

特定秘密保護法の制定で、国民から「知る権利」を奪った安倍政権。そしていま、武器輸出の事実上の解禁に続き、閣議決定による憲法解釈の変更によって、集団的自衛権の行使を容認しようとしています。

これは歴史の教訓を否定し、平和と繁栄への道を放棄し、日本を再び、戦争のできる国へと回帰させるものにほかなりません。憲法が大きな危機に直面する中、6月20日、沖縄、歴史、憲法をテーマに「日本の今を問う」を開催します。

対談(約40分×3)

I. 沖縄から撃つ安倍政権

- 三上智恵さん(「標的の村」映画監督)
- 照屋寛徳衆議院議員

II. 戦後保守政治と憲法

- 佐高信さん(評論家)
- 早野透さん(桜美林大学教授、元朝日新聞コラムニスト)

III. 孫が祖父に聞く歴史認識、そして現代へのまなざし

- 村山富市さん(社民党名誉党首)
- 雨宮処凛さん(作家・活動家)

「**日本**の**今**を**問**う」

沖縄、歴史、憲法

 **社民党**

<http://www5.sdp.or.jp>

電話 03-3580-1171 FAX 03-3506-9080

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3 永田町ビル7F